

小学校国語科
授業改善事例Ⅰ

第4学年「文章の構成を考えて物語をつくろう」（全8時間）

内容のまとめり 第3学年及び第4学年

〔知識及び技能〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
〔思考力、判断力、表現力等〕「B書くこと」

重点的に指導及び評価する指導事項 B(1)イ
書く内容の中心を明確にし、内容のまとめりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。

1 単元の目標

- (1) 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。 [知識及び技能] (1)ウ
- (2) 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア
- (3) 書く内容の中心を明確にし、内容のまとめりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元で取り上げる言語活動

文章の構成を工夫して物語をつくる。 (関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 B(2)ウ)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。 ((1)ウ)	①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) ②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとめりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (B(1)イ)	①進んで、段落相互の関係に注意して文章の構成を考え、学習の見通しをもって物語をつくろうとしている。

4 指導と評価の計画（全8時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○前単元で学習した物語を基に、文章の構成を確認する。 ○山場のある物語における文章の構成の工夫について交流する。 ○相手や目的を意識して、単元の学習活動の見通しをもち、学習計画を立てる。	・ 前単元で用いた【組み立て図】を示すことで、文章の構成を確認できるようにする。 ・ 文章の展開を意識して、物語を読み比べることで、山場のある物語における文章の構成の工夫に目を向けることができるようにする。 ・ 言語活動のモデルとして、教師が作成した物語を示すことで、単元の学習活動の見通しをもち、各自で学習計画を立てることができるようにする。	単元において、児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。ここでは、〔記録に残す評価〕のみを位置付けていますが、学習内容を確実に習得できるようにするため〔指導に生かす評価〕を適宜行います。

<p>2 3 4 5</p>	<p>○ 始まりの場面と終わりの場面の挿絵を基に、想像を広げて、物語の時、場所、人物など、物語の設定について考える。</p> <p>○ 物語の展開部の内容について想像し、【組み立て図】に整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上のような【組み立て図】を見童に示し、付箋の形のカードには、物語における出来事や中心人物の行動、会話等を書き、カードの追加や移動ができるようにする。 ・2種類の物語の挿絵を提供し、児童の興味・関心に応じて選択できるようにする。 ・物語の設定を考え、【組み立て図】に書くよう促す。 ・【組み立て図】を用いて、始まりの場面と終わりの場面を基に、書く内容の中心である山場の場面と変化のきっかけを明確にすることができるようにする。 ・書く内容の中心である山場の場面と変化のきっかけに合わせて、前後の出来事や中心人物の行動、会話等を【組み立て図】に書くことで、内容のまとまりで段落をつくることができるようにする。 ・【組み立て図】を用いて、段落相互の関係について友達と交流することで、文章の構成を考え、工夫することができるようにする。 	<p>[思考・判断・表現①] 1人1台端末の記録又はノート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしているかの確認 <p>[思考・判断・表現②] 1人1台端末の記録又はワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えているかの確認
<p>6 7 8</p>	<p>○【組み立て図】を基に、物語を書く。</p> <p>○物語の文章全体を整える。</p> <p>○書いた物語を友達と読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【組み立て図】を基に、カードの内容を膨らませ、物語を書くよう促す。 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方、文脈に合わせた句読点の打ち方を確認することで、児童が、文や文章の中で使うとともに、文脈に合わせて適切に句読点を打つことができるようにする。 ・文章の構成について工夫しているところを付箋に書いて伝え合うことで、自分の文章における構成の工夫に気付くことができるようにする。 ・物語をつくるために、どのように文章の構成を工夫したのかを振り返ることができるようにする。 	<p>[知識・技能①] 1人1台端末の記録又はワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っていると同時に、句読点を適切に打つことができているかの確認 <p>[主体的に学習に取り組む態度①] 1人1台端末の記録又はワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで、段落相互の関係に注意して文章の構成を考え、学習の見通しをもって物語をつくらうとしているかの確認

5 本時の目標

始まりの場面と終わりの場면을基に、山場の場面と変化のきっかけを考えることができる。

6 本時の展開（3／8）

	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点（○）と評価規準（◇）【評価方法】
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを立てる。	○各自の学習計画及び前時の振り返りを基に、本時の学習のめあてを立てることができるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて 始まりの場面と終わりの場면을基に、山場の場面と変化のきっかけを考えよう</div> 2 本時の学習活動について確認する。	○教師が作成した【組み立て図】を例示し、児童が学習活動を具体的に見通すことができるようにする。 ○児童全員の【組み立て図】を大型モニター等の画面一覧機能を用いて提示することを伝え、児童が目的に応じた交流の手掛かりにできるようにする。 ○必要なときに、友達や教師に聞いたり、ペアやグループで学び合ったりしてよいことを伝え、児童が自分に合った方法で、学習に取り組むことができるようにする。
展開	3 山場の場面と変化のきっかけを考え、【組み立て図】に書く。 ・前時までの1人1台端末の記録やワークシートを確認しながら書いている。 ・大型モニター等の画面一覧機能を用いて提示された友達の考えを参考にしている。 ・ペアやグループで学び合っている。 ・必要なときに、友達や教師に聞いている。	○【組み立て図】を用いることで、児童が始まりの場面と終わりの場면을基に、山場の場面と変化のきっかけを考えることができるようにする。 ○児童が友達の【組み立て図】を見たり、【組み立て図】の内容について尋ねたりすることで、山場の場面と変化のきっかけについて考えを広げることができるようにする。 ○児童が【組み立て図】を基に、友達に説明したり、友達にアドバイスをもらったりするなど、友達との交流を通して山場の場面と変化のきっかけを確認することができるようにする。 ○児童が友達との交流を通して、参考にした考えや思い付いた発想をカードに記録し、複数の考えを比較することができるようにする。その際、言葉に着目して比較するよう促すことで、始まりの場面と終わりの場면을踏まえた山場の場面と変化のきっかけになっているかを吟味することができるようにする。 ○児童が1人1台端末又はワークシートのどちらかを選択し、個に応じて学習活動に取り組むことができるようにする。 ○ワークシートを用いて書く児童は、カードの代わりに付箋に記入し、1人1台端末のカメラでワークシートを撮影するよう促すことで、随時、友達と【組み立て図】を共有できるようにする。 ○学習活動に取り組む場所は、児童の学習活動の内容に応じて、大型モニター等の付近や友達の席の付近などを選択できるようにする。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【指導に生かす評価】 ◇ [思考・判断・表現②] 始まりの場面と終わりの場면을基に、山場の場面と変化のきっかけを考えることができる。 【1人1台端末の記録又はワークシート・観察】 ○山場の場面と変化のきっかけを【組み立て図】に書くことが困難な児童には、既習の物語における山場の場面と変化のきっかけを </div>

		<p>例示し、参考にするよう促す。また、前時に考えた始まりの場面及び終わりの場面と一緒に確認したり、同じ題材を選んでいる児童の【組み立て図】の内容を参考にするよう促したりする。</p> <p>○山場の場面と変化のきっかけを【組み立て図】に書くことができた児童には、段落相互の関係に注意して、山場の場面と変化のきっかけに合わせた前後の展開を考えるよう促す。</p>
終末	4 本時の学習を振り返り、次時の学習の内容を見直す。	○本時で学習したことをまとめ、振り返ることで、次時からの学習内容を見直し、学習計画を修正することができるようにする。

7 本時の評価規準と判定基準

本時の評価規準【評価方法】	指導の手立て
<p>[指導に生かす評価]</p> <p>◇ [思考・判断・表現②]</p> <p>始まりの場面と終わりの場面を基に、山場の場面と変化のきっかけを考えることができる。</p> <p>【1人1台端末の記録又はワークシート・観察】</p>	<p>「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の物語における山場の場面と変化のきっかけを例示することで、山場の場面と変化のきっかけを考える際の手掛かりとなるようにする。 ・前時に考えた始まりの場面及び終わりの場面と一緒に確認することで、山場の場面と変化のきっかけを考えることができるようにする。 ・同じ題材を選んでいる児童の【組み立て図】の内容を参考にするよう促す。